

## 資格の魅力

経理事務を筆頭に様々な仕事に役立つ資格があれば就職活動が有利に

### 日商簿記検定

簿記の知識・技能は、経理・財務に関わる人だけでなく、営業をはじめすべてのビジネスパーソンの必須スキルと言われ、就職にも役立つ資格となっています。会計の理解の基本は簿記を理解することになります。

その習熟度をチェックする日商簿記検定試験は、社会的な信頼が絶大でその評価も高いものがあります。

### よくある質問

#### 選抜試験の合格率はどれくらいですか？

過去の実績では、選抜試験の受験者 40～50 名に対して、合格率は 80～90% となっています。  
説明会および事前学習会に出席すれば、基本的には合格できるレベルです。

#### 公認会計士と税理士はどのように異なりますか？

税理士は決算書や申告書を作成する側であり、公認会計士は出来上がった決算書をチェックする業務を行います。また、税理士は個人事業主や中小企業が顧客の中心になりますが、公認会計士は大企業が顧客の中心になります。公認会計士から税理士になることも出来ますし、経営アドバイスの勉強もしますので、将来税理士になる場合にでも公認会計士を検討するのもよいと思います。税理士試験では、管理会計や原価計算を勉強しませんが、企業経営には必須のものなので、税理士志望でもそれらの学習はしておいた方がよいです。

#### 日商簿記 1 級を取得できればよく、会計専門職を目指しているわけではないのですが…？

たしかに、日商 1 級があれば就職に非常に有利になりますので、将来一般企業に就職するということを念頭に置きながら、会計専門コースで勉強していくことはできます。しかし、もし税理士の科目合格を果たせば、自分の気持ちも変わるかもしれません。日商 1 級で何かできる独占業務はありませんが、公認会計士や税理士になれば、その資格がなければできない独占業務があります。日商 1 級合格レベルに達すれば、公認会計士や税理士をめざしてみるのもよいことだと思います。

#### 資格を取るだけなら、専門学校に通った方がよいのではないですか？

資格をとるだけでというのであれば、専門学校でもよいかもしれません。しかし、回り道に見えるかもしれません、大学でじっくりと本質を考え、議論を重ねることで思考力が養われます。また、公認会計士や税理士として活躍するために、会計のみの勉強ではなく他の知識も学ぶ必要があります。さらに、大学院の進学を考えると、大学を卒業しておく方がよいと思います。

#### 大学への編入を考えている専門学校生です。編入後に会計専門職コースに合流することはできますか？

会計専門職コースでは 1 年次から学習を積み上げていきますので、簿記の知識がない方が 2 年次や 3 年次から合流することは困難です。しかし、所定の資格を取得された方なら合流することは可能であり、これまでにも複数の受け入れ実績があります。詳細は担当者にお尋ねください。

#### 高校ではありませんでしたが、専門職を目指せるでしょうか？

大学時代の努力次第で受験結果は変わってきます。大学時代に生まれ変わったように努力して資格を取得していく先輩も数多くいます。受験勉強は何年もするものではなく、可能な限り短期集中するべきものです。やる気と適切な努力をすれば、結果はついてきますので、大学で勉強してみませんか。

#### 大学院に行かなくても資格はとれますか？

もちろん大学院に行かなくても会計専門職になることはできます。しかし、大学院に行くことで資格取得が近づきます。特に税理士の場合、5 科目と時間がかかるので、短期で資格を取得するためには、大学院の進学を検討してもよいのではないかと思います。飛び級制度を活用して 5 年間で資格取得をめざすこともできます。



大学基準協会

2022(令和4)年度に財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を申請し、「大学基準に適合している」との認定を受けました。

近年、活躍の場が広がり、需要も増加。約 8 割が独立開業。生涯現役で働けて、男女の差もなく高収入も近年では活躍のフィールドも拡大

### 公認会計士

監査・税務など会計に関する業務の専門家「公認会計士」になるための国家試験です。近年、企業の活動の範囲が広がり、会計も国際化しています。また、官公庁や企業再生における支援業務に対する期待も高まっています。

会計・税務の専門知識を有したプロとして様々なフィールドで公認会計士はその活躍が期待されています。

### 税理士

税務に関するプロフェッショナル「税理士」になるための国家試験です。合格者の約 8 割が独立開業していますが、近年では企業内税理士や国際税務、監査業務におけるタスクレビューなど、活躍の場が広がっています。

さらに企業の経営指導や経営戦略など、コンサルタントとしての役割も期待されています。

公認会計士・税理士をめざすなら



# 商学部 会計専門職コース

- 公認会計士・税理士をはじめとする資格取得をバックアップ
- 理論と実践の両方を学び、現場重視の活きた知識を獲得
- 語学修得も進め、グローバルに活躍できる人材の育成をめざす

## 会計専門職への道筋 熊本学園大学モデル

### 会計専門職コース

基礎理論の重視  
実践力の養成

### 会計専門職研究科

応用力・論理力の養成

公認会計士  
税理士  
一般企業

夢の実現  
会計専門職へ

※大学院会計専門職研究科への内部特別推薦枠を用意。  
飛び級制度を使えば、最速 5 年間で修士号の取得が可能。  
大学院を修了すると、公認会計士試験・税理士試験の科目免除を受けることができます。

## 公認会計士試験合格者数

2023年度 論文式合格者	2名	2016年度 論文式合格者	1名
2022年度 短答式合格者	1名	2014年度 論文式合格者	2名
2021年度 短答式合格者	1名	2013年度 短答式合格者	2名
2017年度 短答式合格者	1名		

※本コースの出身の学生（現役・既卒含む）

## 税理士試験に 85 名が科目合格

本コース出身の学生（現役・既卒含む）がこれまでのべ 85 名\*税理士試験に科目合格を果たしています。

\*2008-2024 年度

資格の学校 TAC と提携し、課外講座として、日商簿記 3・2・1 級、公認会計士、税理士を設けています。

会計専門職コース生のうち成績優秀者向けに課外講座の受講料補助があります。例えば、公認会計士、税理士簿記論等の課外講座を大学補助により受講することができます。

### 課外講座の補助あり

### 会計専門職コース に入るには…

商学部商学科の合格者のうち専門職コースを希望する方が対象です。入学式後の専門職コース選抜試験を受験してください。詳しくは次頁をご覧ください。

12 月から順次、専門職コースの説明会・個別相談を行います。

ご不明なこと、資格に関するご相談は、遠慮なくお問い合わせください。  
会計専門職コース担当：日野 修造 s-hino@kumagaku.ac.jp



お問い合わせ: 入試課  
〒862-8680 熊本中央区大江 2 丁目 5 番 1 号  
TEL: 096-364-5161 (代表) FAX: 096-363-1289 (代表)  
0120-62-4095

詳細は PC ホームページまたは QR コードから携帯版ページへ。  
[www.kumagaku.ac.jp](http://www.kumagaku.ac.jp) クマガク 検索



## 入学前・後の流れについて

普通高校出身者でも安心して学べるカリキュラム

各種の入試  
(総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜など)

会計専門職コース説明会・事前学習会  
(12月開催、以降は動画配信)

選抜試験  
入学式後に、会計専門職コースの選抜試験を実施します。  
簿記の初級レベルおよび一般教養が問われます。  
事前学習会に参加すれば、十分に対応できます。

初学者  
(普通高校出身者など)  
入学後、6月まで日商簿記3級の内容を学習します。  
6月後半からは、日商簿記2級の学習を始めて、11月の日商簿記2級試験に備えます。11月以降は、日商簿記1級などのより進んだ内容を学習します。

既学者  
(商業課程出身者など)  
入学後、初学者とともに日商簿記3級、2級、1級の内容を学習します。  
なお、授業と並行して、税理士や公認会計士向け課外講座を利用し、資格取得に向けた学習をスタートします。

入学	1年次	2年次	3年次	4年次
入学後 コース 選抜試験	基礎簿記を中心とした 日商簿記2級 合格を目指す  <input type="radio"/> 基礎簿記Ⅰ・Ⅱ <input type="radio"/> 基礎演習 <input type="radio"/> 簿記特講 <input type="radio"/> 会計学入門 <input type="radio"/> サブゼミ	基礎能力を身につける 日商簿記1級合格を目指す  <input type="radio"/> 発展簿記Ⅰ・Ⅱ <input type="radio"/> 発展演習 <input type="radio"/> 財務会計論 <input type="radio"/> 工業簿記Ⅰ・Ⅱ <input type="radio"/> サブゼミ	会計学の専門的知識を学ぶ 公認会計士試験、税理士試験にチャレンジ  <input type="radio"/> 応用演習Ⅰ・Ⅱ <input type="radio"/> インターンシップ <input type="radio"/> 税務会計論 <input type="radio"/> 原価計算論 <input type="radio"/> 管理会計論Ⅰ・Ⅱ <input type="radio"/> 会計監査論 <input type="radio"/> サブゼミ	<input type="radio"/> 会計制度論 <input type="radio"/> 結合会計論 <input type="radio"/> 財務諸表分析 <input type="radio"/> 企業法 <input type="radio"/> 民法
演習	・企業訪問調査、調査の基本的手法の修得 ・企業実地調査、インゼミでの成果発表 ・会計事務所でのインターンシップ ・卒業論文作成			

※ このほかにも、商学部向けに開講されている講義を受講します。

### 目標に向かって進む学生を全面的にサポート



本学からは数多くの卒業生が会計・税務の世界に進んでおり、ビジネスの最前線で活躍しています。また、本学の大学院にはこれらの世界をめざす学生が在籍し、日夜勉強に励んでいます。会計専門職コースでは、こうしたネットワークを活かして、特別講義や勉強会などを開催、頑張る学生を強力にバックアップしています。特に、会計専門職コースの学生を対象とした、監査法人や税理士事務所でのインターンシップは、会計・税務の現場を観察できる、貴重な就業体験の場となっています。マナー講座などの事前研修も行い、会計のプロのリアルを体験します。

### 大学院（会計専門職研究科）への進学は、公認会計士や税理士への近道



会計専門職コースを卒業後、本学の大学院（会計専門職研究科）への内部推薦制度があります。成績優秀者の場合、大学3年生修了後に大学院へ飛び級する制度もあります。その場合は、大学入学後最速5年間で修士号が取得できます。

会計専門職大学院では、一定の要件を満たすことで、公認会計士試験短答式試験の会計3科目免除、税理士試験の科目免除の申請をすることができます。

2025年4月には、会計専門職コースから会計専門職研究科へ4名の学生が進学しています。

### 会計専門職コース出身者の進路（一例）

本学大学院会計専門職研究科、有限責任監査法人トーマツ、新日本有限責任監査法人、あらた監査法人、国税専門官、コンサルティング企業等

### ニュース

#### ▶ 令和6年度税理士試験で会計専門職コースの現役生が科目合格

令和6年度（第74回）税理士試験の合格発表が11月29日（金）に行われ、商学部商学科の湯野千慧さん（取材時3年）が簿記論で現役合格を果たしました。

湯野さんは会計の専門学校を卒業後、本学商学部「会計専門職コース」に3年次編入をして、同試験の対策に取り組んできました。

「大卒の資格を取得したいという思いと、会計の知識をさらに深めて就職したいと考え、本学に3年次編入しました。税理士試験は、大学の定期試験と時期が重なり大変でしたが、時間を工夫しながら学習に取り組みました。現在は新改敬英教授

のゼミに所属しており、昨年6月にゼミメンバーとともに会計サークル『K-FAS』を立ち上げました。専門学校時代は簿記中心の生活でしたが、大学では学業だけでなく、学生としての成長につながる経験ができると嬉しく思います。将来は税理士や公認会計士としての専門職をめざしています」と抱負を語りました。



湯野 千慧さん（取材時3年）

### 現役生 Voice

#### 普通高校出身でもスムーズに学べる カリキュラムです

中村一誠さん  
商学部4年 熊本県／九州学院高等学校出身



入学時に会計専門職コースがあることを知り、会計職の知識はどのような企業でも必要とされるものだと興味を持ちました。私は普通高校出身ですが、1年次に日商簿記3級レベルから授業があったため、スムーズに簿記の勉強を始められました。他の学部生より速い進度で、少人数制で会計の勉強ができることが大きな魅力。税理士法人へのインターンシップや研修、さらに簿記などの資格取得のサポートも手厚く、専門的に学べています。税理士試験への勉強を続けながら税理士法人で働き、大学で得た知識をいかしてお客様に貢献したいです。

#### 高校で学んでいた簿記の知識・技術を さらに深掘りできます

草野 棣人さん  
商学部4年 熊本県／千原台高等学校出身



高校で簿記を学んでおり、全商簿記1級にも合格していました。大学では日商簿記の合格をめざし、勉強できる環境づくりから始めるべきだと考え、専門会計職コースを志望しました。高校までは簿記の基礎知識と計算方法が主でしたが、本コースでは会計知識を応用しながら、理解を深めていく学びで、より深掘りしている印象です。日商簿記1級や財務諸表論の講義を受けるなかで、将来の選択肢も広がっていることを感じます。何より、先生方が熱心に教えてくださり、仕事の楽しさも伝えてくれるので、モチベーションも高く学ぶことができています。

### 担当者より一言

#### 資格取得が専門家の第一歩 資格取得後の進路までじっくり一緒に考えませんか

AI（人工知能）時代の到来によって、人々の働き方は変化するだろうと言われています。特に、公認会計士や税理士などのいわゆる「サムライ業」は、AIの脅威にさらされていると見る向きもあります。

こうした中、従来の「サムライ業」に、新たなアイデアを加え、人間にしかできないサービスを生み出そうとする有資格者も現れています。定型的な業務がAIによって代替されてゆくであろうことを考えると、今後の専門職にはこれまでと違った働き方が求められていると思われます。

本学会計専門職コースでの経験は、こうしたAI時代に生きるうえでの糧になると確信しています。会計専門職コースに所属すると、仲間と机を並べ、資格取得へ向けて勉強することになります。一方、会計以外の科目については通常の商学部の科目を履修しますので、資格試験とは直接関係のない分野についても学ぶことになります。またゼミ

等の活動を通じて、志を同じくする仲間との間でつながりを形成します。このように、在学中に密度の濃い時間を過ごすことで、いわば人間力を高めることができます。この点は、専門学校等で試験合格だけをめざして勉強することではない特長です。学生の皆さんには、会計専門職コースのプログラムで自分の力を高めてほしいと思います。

大学生活の4年間、場合によっては大学院を含めた6年間、じっくりと将来どうなりたいかをともに考えていくたいと思います。努力は裏切りません。夢が描けるビジョンづくり、それを実行できる力を一緒に作っていきませんか。

資格取得のためには、相応の時間と努力が必要になりますが、資格取得のためだけに大事な時間を費やすのではなく、多面的な視野を持つ人材になってもらいたいと思っています。

商学部 教授 日野 修造  
博士（経済学）・京都大学